

陶原 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年11月28日（木）
午後7時30分から午後9時まで
場 所：陶原公民館
参加者：10名

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進み、燃えるゴミが減少し、晴丘センターの負荷が減少した。
- ・分別は進んだが、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていないため、引き続きごみの総量の削減に取り組んでいきたい。
- ・調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組むことで、ごみの総量の削減につながるようご協力いただきたい。

市からの報告 テーマ：市制100周年に向けて

- ・今年度は市制95周年であり、瀬戸市制100周年を迎えるに当たり、カウントダウンにつながる取組みを進めていく。
- ・来年は、国際芸術祭あいちや愛知万博20周年記念事業が開催され、さらなる賑わいが期待される。市と地域で共に盛り上がるよう取り組んでいきたい。

市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・下水道料金の料金改定を24年ぶりに行う。
- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、約65%しか受益者負担で賄っていない。
- ・今回の改定によって、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率80%となる予定である。将来的には、100%受益者負担で運営できるようにしていく。

地域の課題：陶原自治会活動を通しての課題

1 ごみについて

- ・自治会の衛生委員会では、毎年5月・12月にクリーンパトロールを実施している。連区内の啓発活動に取り組んでいる。
- ・陶原連区でもイノシシにごみが荒らされるケースが生じている。
- ・旧ごみ袋でごみを出す人がまだいる。自治会から市に連絡した際に、2週間後

- に市が回収に来てくれることについて、役所内で統一した対応をしてほしい。
- 資源ごみのリサイクル率を周知してほしい。リサイクルによる効果と回収コスト等を比較して対応していくことが必要ではないか。

2 防犯活動について

- 防犯灯機器新設取替補助金について、LED への取替時のみではなく、LED から LED への取替にも対応してほしい。

3 防災活動について

- 連区での防災訓練時に、防災訓練備品の貸し出しに対応できるよう備品の拡充をお願いしたい。
- 陶原連区は、水無瀬中学校と陶原小学校の体育館が避難所に指定されている。多くの住民が避難することが想定されるが、備蓄品は十分確保されているか心配。
- 陶原小学校への送電環境が、被災時に倒木等により遮断される可能性がある。送電施設の更新の際に変更してほしい（瀬戸警察署方面から送電してほしい）。
- 市内企業の従業員にも地域の防災訓練に参加してもらえるとよい。
- 市の職員にも地域の防災活動に参加してもらえるとよい。
- 防災訓練の日が毎年中学生のテスト期間と重なっている。子どもたちも地域の防災訓練に参加できるよう、日程に配慮してほしい。
- 地震体験車なます号を訓練時に派遣してもらえると、住民の危機意識が向上されるのではないか。

地域の課題：陶原連区としての地域課題

（都市計画について）

- 地域の高齢化率も高くなっている中、交通弱者への対策として、通学路や歩道が狭い。
- 緊急時、災害時のことを考えた都市計画を考えてほしい。

（子育て支援）

- 地域に子育て世帯に住んでもらうためには、子育て支援の充実が重要。一時預かりの内容を充実させるなど、子育て世代が利用しやすい制度にしてほしい。
- 制度を知らない人もいるので、PR を積極的にしてほしい。
- 廃校を多世代交流の場として活用してほしい。

（その他）

- 水道水の安全性について、PFOS が話題になっているが、検査結果について周

知してほしい。

- コロナワクチンの危険性を周知してほしい。
- 市の事業を第三者機関に精査をしてもらうなど、事業の見直しが必要ではないか。
- 税収を増やすため、大規模開発だけでなく、旧市街地での開発を行うことにより、空き家対策にもつながるのではないか。
- 自治会加入率向上へ市も支援をしてほしい。
- 市長の公約の進捗状況を知りたい。